

令和元年度

事業報告書

収支計算書

公益財団法人兵庫県科学技術振興財団

目 次

令和元年度 事業報告

I. 法人の概要

1. 目的	1
2. 沿革	1
3. 基金の状況	1
4. 役員	1
5. 会議	
(1) 理事会の開催	2
(2) 評議員選定委員会の開催	4
(3) 評議員会の開催	4
6. 役員改選	
(1) 令和元年6月24日付	5

II. 事業の概要

1. 研究及び科学技術に関する助成事業（科学技術振興助成金事業）	
(1) 周知方法	5
(2) 助成金申請受付状況	5
(3) 選考委員会	6
(4) 助成金交付件数及び助成額	7
(5) 科学技術振興に関する助成金贈呈の会	7
(6) 交付対象となった研究概要	10
2. 特記事項	12

令和元年度 経理状況

貸借対照表（令和2年3月31日現在）	13
正味財産増減計算書（平成31年4月1日～令和2年3月31日）	14
正味財産増減計算書内訳表（平成31年4月1日～令和2年3月31日）	15
財務諸表に対する注記	16
財産目録（令和2年3月31日現在）	17
収支計算書（予算対比）（平成31年4月1日～令和2年3月31日）	18
監査報告書	19

令和元年度 事業報告書

I. 法人の概要

1. 目的

兵庫県における科学技術の研究開発を助成し、科学技術に関する知識及び思想の普及並びに啓発に努めることにより、科学技術の発展と科学思想の浸透を図り、もって兵庫県の産業の振興と県民の生活及び福祉の向上に資することを目的とする。

2. 沿革

昭和51年4月17日 設立許可（昭和51年4月17日付兵庫県指令文第1-3号）
基本財産 2億円（出損者：兵庫県）
昭和51年4月26日 設立登記
平成25年4月9日 公益財団法人へ移行登記

3. 基金の状況

基本財産	200,000,000円
出損金受領年月日	昭和51年4月19日
出損者	兵庫県
管理状況	兵庫県縁故債 (契約締結日：平成23年12月20日) 金額 200,000,000円

(注) 出損金はハニー化成(株)が兵庫県に寄附したものの。

4. 役員

令和元年6月24日 改選後

財団役職	氏名	所属・役職名
会長	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役
理事	中前 勝彦	神戸大学 名誉教授
理事	半谷 正裕	住友ゴム工業株式会社 知的財産部長
理事	平岡 靖敏	神戸商工会議所 理事・産業部長
理事	内田 仁	兵庫県立工業技術センター 所長
理事	山崎 徹	兵庫県立大学 副学長
理事	吉田 眞也	ハニー化成株式会社 代表取締役社長
監事	鈴木 祥克	太陽グラントソントン税理士法人 パートナー税理士
監事	中野 秀樹	兵庫県産業労働部産業振興局 新産業課長
評議員	井上 二三夫	シスメックス株式会社 知的財産本部長
評議員	亀岡 誠司	株式会社神戸製鋼所 知的財産部長

評議員	山田 文一郎	大阪市立大学 名誉教授
評議員	福岡 誠	川崎重工業株式会社 技術開発本部 知的財産部長
評議員	西舩 和美	兵庫県産業労働部 産業振興局長

会長 1 理事 6 監事 2 評議員 5 (計 14 名)

5. 会議

(1) 理事会の開催

① 日時 令和元年5月9日(木) 10:00~11:00

場所 兵庫県立工業技術センター 技術交流館 セミナー室Ⅱ

出席者(順不同・敬称略)

理事 神門 登 ハニー化成株式会社 専務取締役

理事 中前 勝彦 神戸大学 名誉教授

理事 平岡 靖敏 神戸商工会議所 理事 産業部長

理事 内田 仁 兵庫県立工業技術センター 所長

理事 山崎 徹 兵庫県立大学 副学長

理事 吉田 眞也 ハニー化成株式会社 代表取締役社長

監事 鈴木 祥克 太陽グラントソントン税理士法人 パートナー税理士

事務局 田中 雅道 一般社団法人兵庫県発明協会 事務局長

議決事項

(1) 第1号議案 平成30年度事業報告同収支決算(案)について

(2) 第2号議案 役員改選(案)について

(3) 第3号議案 評議員選定委員会開催(案)について

(4) 第4号議案 評議員会の招集について

報告事項

(1) 代表理事の職務執行報告について

② 日時 令和元年6月24日(月) 16:00~16:30

場所 兵庫県立工業技術センター 技術交流館 セミナー室Ⅱ

出席者(順不同・敬称略)

理事 神門 登 ハニー化成株式会社 専務取締役

理事 中前 勝彦 神戸大学 名誉教授

理事 半谷 正裕 住友ゴム工業株式会社 知的財産部長

理事 平岡 靖敏 神戸商工会議所 理事・産業部長

理事 内田 仁 兵庫県立工業技術センター 所長
理事 山崎 徹 兵庫県立大学 副学長
理事 吉田 眞也 ハニー化成株式会社 代表取締役社長
監事 鈴木 祥克 太陽グラントソントン税理士法人 パートナー税理士
事務局 田中 雅道 一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

議決事項

(1) 代表理事の選出について

報告事項

(1) 代表理事の職務執行報告について

③ 日時 令和元年11月12日(火) 10:00~11:00

場所 兵庫県立工業技術センター 技術交流館2階 セミナー室II

出席者(順不同・敬称略)

理事 神門 登 ハニー化成株式会社 専務取締役
理事 中前 勝彦 神戸大学 名誉教授
理事 半谷 正裕 住友ゴム工業株式会社 知的財産部長
理事 平岡 靖敏 神戸商工会議所 理事・産業部長
理事 内田 仁 兵庫県立工業技術センター 所長
理事 吉田 眞也 ハニー化成株式会社 代表取締役社長
監事 鈴木 祥克 太陽グラントソントン税理士法人 パートナー税理士
事務局 田中 雅道 一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

議決事項

(1) 第1号議案 令和元年度兵庫県科学技術振興助成金交付(案)について

(2) 第2号議案 科学技術振興に関する第44回助成金贈呈の会(案)について

(3) 第3号議案 令和元年度中間期事業報告について

報告事項

(1) 代表理事の職務執行報告について

④ 令和2年3月4日に予定していた理事会は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため開催せず、書面決議を行った。

決議があったとみなされた日 令和2年3月10日

決議があったとみなされた事項

(1) 第1号議案 令和2年度事業計画同収支予算(案)について

(2) 評議員選定委員会の開催

① 日時 令和2年5月9日(木) 11:00~11:30

場所 兵庫県立工業技術センター 技術交流館 セミナー室II

出席者

外部委員

三浦 久典 兵庫県立工業技術センター 次長(技術調整担当)

宮本 要 公益社団法人兵庫工業会 専務理事

関係委員

山田文一郎 公益財団法人兵庫県科学技術振興財団 評議員
(大阪市立大学 名誉教授)

鈴木 祥克 公益財団法人兵庫県科学技術振興財団 監事
(太陽グラントソントン税理士法人 パートナー税理士)

田中 雅道 公益財団法人兵庫県科学技術振興財団 事務局
(一般社団法人兵庫県発明協会 事務局長)

出席理事

神門 登 公益財団法人兵庫県科学技術振興財団 会長
(ハニー化成株式会社 専務取締役)

決議事項

第1号議案 評議員選任の件について

(3) 評議員会の開催

① 日時 令和元年6月24日(月) 15:00~16:00

場所 兵庫県立工業技術センター 技術交流館2階 セミナー室II

出席者(順不同・敬称略)

評議員 山田文一郎 大阪市立大学 名誉教授

評議員 福岡 誠 川崎重工業株式会社 技術開発本部 知的財産部長

評議員 西躰 和美 兵庫県産業労働部 産業振興局長

会長 神門 登 ハニー化成株式会社 専務取締役

理事 半谷 正裕 住友ゴム工業株式会社 知的財産部長

理事 平岡 靖敏 神戸商工会議所 理事・産業部長

理事 内田 仁 兵庫県立工業技術センター 所長

理事 山崎 徹 兵庫県立大学 副学長

監事 鈴木 祥克 太陽グラントソントン税理士法人 パートナー 税理士

陪席 中野 秀樹 兵庫県産業労働部産業振興局 新産業課長

事務局 田中 雅道 一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

議決事項

- (1) 第1号議案 平成30年度事業報告同収支決算(案)の承認について
- (2) 第2号議案 役員改選(案)の承認について

報告事項

- (1) 令和元年度事業計画同収支予算について

6. 役員改選

- (1) 令和元年6月24日付

理事(順不同・敬称略)

神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役	重任
中前 勝彦	神戸大学 名誉教授	重任
半谷 正裕	住友ゴム工業株式会社 知的財産部長	重任
平岡 靖敏	神戸商工会議所 理事・産業部長	重任
内田 仁	兵庫県立工業技術センター 所長	重任
山崎 徹	兵庫県立大学 副学長	重任
吉田 眞也	ハニー化成株式会社 代表取締役社長	重任

監事(順不同・敬称略)

中野 秀樹	兵庫県産業労働部産業振興局新産業課長	就任
-------	--------------------	----

- (2) 令和元年5月9日付

評議員(順不同・敬称略)

西躰 和美	兵庫県産業労働部産業振興局長	就任
-------	----------------	----

II. 事業の概要

1. 研究及び科学技術に関する助成事業(科学技術振興助成金事業)

- (1) 周知方法

- ・ 関係団体、県内各商工会議所・商工会・県民局等への案内送付
- ・ ホームページ掲載
- ・ 内部機関紙告知(兵庫県発明協会 機関誌 IPR)

- (2) 助成金申請受付状況

- ① 受付期間 令和元年7月1日～令和元年9月30日

② 申請件数・金額

一般企業	9件	1,020,000円
研究機関	18件	7,320,000円
合計	27件	16,500,000円

(3) 選考委員会

① 日時 令和元年10月31日(木) 13:30~15:30

会場 兵庫県立工業技術センター 技術交流館 セミナー室II

出席者(順不同・敬称略)

- 委員 中前 勝彦 神戸大学 名誉教授
委員 内田 仁 兵庫県立工業技術センター 所長
委員 山崎 徹 兵庫県立大学 副学長
委員 中村 俊一 神戸大学大学院医学研究科 教授
委員 黒田 公一 ハニー化成株式会社 執行役員 明石事業所所長兼技術部部長
委員 山田 文一郎 大阪市立大学 名誉教授
委員 中野 秀樹 兵庫県産業労働部産業振興局 新産業課長

② 研究開発助成基準

1. 助成対象

兵庫県 県下の助成を必要とする個人、企業、研究機関(大企業、大規模プロジェクトは含まない)が次に掲げる研究開発等の事業(以下「助成事業」という。)を行うに必要な経費を、会長が適当と認めるものについて、予算の範囲内において交付する。

(1) 研究開発の試作試験費に対する助成

(2) 新技術の実施化資金に対する助成

2. 選考基準

- イ. 県下の科学技術の振興に寄与するもの。
- ロ. 新規な学術または技術であること。
- ハ. その計画が申請者において実施可能なものであること。

3. 選考方法

- イ. 申請書、添付資料により審査を行う。
- ロ. 必要に応じて内容聴取、または臨場調査することもある。
- ハ. 選考は次の区分に評価する
 - A・・・助成金の交付が適当である
 - B・・・Aに準じる
 - C・・・助成金の交付は適当でない
- ニ. 助成額は、年度予算を参考に選考委員の総意により、査定する。

(4) 助成金交付件数及び助成額

一般企業	4件	1, 100, 000円
研究機関	2件	500, 000円
合計	6件	1, 600, 000円

(5) 科学技術振興に関する助成金贈呈の会

前年度助成金受賞者による研究成果発表会後、第44回科学技術振興に関する助成金贈呈の会を行った。

日時 令和2年1月20日(月) 14:00~15:50

場所 生田神社会館 3階 梅の間(神戸市中央区下山手通1-2-1)

参加者 88名

内容

1. 贈呈の会記念 成果発表会 (14:00~15:30)

2. 助成金贈呈の会 (15:30~15:50)

挨拶 会長 神門 登 氏

審査経過報告 助成金選考委員会委員長 山田 文一郎 氏

成果発表会風景



年度別実績

(助成金単位：千円)

年度	回数	一般		学校		機関		合計	
		採用件数	助成金額	採用件数	助成金額	採用件数	助成金額	採用件数	助成金額
昭和 51	第 1回	9	6,330	3	3,050	1	1,150	13	10,530
昭和 52	第 2回	3	1,650	5	5,100	3	3,050	11	9,800
昭和 53	第 3回	12	6,600	3	2,400	-	-	15	9,000
昭和 54	第 4回	6	3,600	6	4,200	-	-	12	7,800
昭和 55	第 5回	4	5,000	5	4,000	-	-	9	9,000
昭和 56	第 6回	6	6,000	5	5,000	-	-	11	11,000
昭和 57	第 7回	5	6,400	6	5,600	-	-	11	12,000
昭和 58	第 8回	4	6,800	9	8,200	-	-	13	15,000
昭和 59	第 9回	5	6,000	7	7,400	-	-	12	13,400
昭和 60	第 10回	4	5,000	8	8,300	-	-	12	13,300
昭和 61	第 11回	5	4,000	6	6,000	-	-	11	10,000
昭和 62	第 12回	4	3,700	7	6,300	-	-	11	10,000
昭和 63	第 13回	5	3,600	7	6,400	-	-	12	10,000
平成 1	第 14回	5	3,500	8	6,500	-	-	13	10,000
平成 2	第 15回	2	1,900	9	8,100	-	-	11	10,000
平成 3	第 16回	3	2,800	8	8,400	-	-	11	11,200
平成 4	第 17回	5	4,000	7	6,000	-	-	12	10,000
平成 5	第 18回	3	2,200	6	5,800	-	-	9	8,000
平成 6	第 19回	2	1,300	3	3,700	-	-	5	5,000
平成 7	第 20回	0	0	5	5,000	-	-	5	5,000
平成 8	第 21回	1	550	2	1,450	-	-	3	2,000
平成 9	第 22回	1	500	5	3,500	-	-	6	4,000
平成 10	第 23回	1	800	4	3,200	-	-	5	4,000
平成 11	第 24回	2	1,400	3	2,400	-	-	5	3,800
平成 12	第 25回	1	750	4	3,050	-	-	5	3,800
平成 13	第 26回	1	750	4	3,050	-	-	5	3,800
平成 14	第 27回	1	300	5	3,500	-	-	6	3,800
平成 15	第 28回	0	0	5	3,300	-	-	5	3,300
平成 16	第 29回	0	0	5	2,900	-	-	5	2,900
平成 17	第 30回	1	300	6	3,300	-	-	7	3,600
平成 18	第 31回	5	2,100	3	1,500	-	-	8	3,600
平成 19	第 32回	2	800	3	1,200	-	-	5	2,000
平成 20	第 33回	3	900	3	900	-	-	6	1,800
平成 21	第 34回	4	1,200	3	900	-	-	7	2,100
平成 22	第 35回	4	1,500	2	600	-	-	6	2,100
平成 23	第 36回	6	1,800	5	1,200	-	-	11	3,000
平成 24	第 37回	2	500	4	1,200	-	-	6	1,700
平成 25	第 38回	1	200	6	1,800	-	-	7	2,000

年度別実績

(助成金単位：千円)

		一般		学校		機関		合計	
年度	回数	採用件数	助成金額	採用件数	助成金額	採用件数	助成金額	採用件数	助成金額
平成 26	第 39回	1	300	4	1,200	-	-	5	1,500
平成 27	第 40回	3	700	3	900	-	-	6	1,600
平成 28	第 41回	3	600	4	1,100	-	-	7	1,700
平成 29	第 42回	2	450	3	750	-	-	5	1,200
平成 30	第 43回	1	200	6	1,400	-	-	7	1,600
令和元	第 44回	4	1,100	2	500	-	-	6	1,600
合計		142	98,080	217	160,250	4	4,200	363	262,530

(注：機関助成は昭和 52 年度で整備完了につき終了)

(6) 交付対象となった研究概要

「水銀フリー深紫外面光源デバイスの開発」

株式会社紫光技研 代表取締役社長 脇谷 雅行

弊社は、淡路市の遊休体育館を借りて事業所とし、細長いガラス管の中に紫外蛍光体層を形成したガス放電利用の紫外光源を開発しています。水銀フリーとフレキシブルな面発光が特徴で、展示会やサンプル出荷で高い評価を得ておりますが、未だ量産には至っていません。高い品質の製品を歩留まり良く製造するためには、蛍光体層の形成やガラス管の整形・封止に安定した環境が必要です。しかし現在の遊休体育館には空調設備がなく、精度の高い実験も出来ない状況です。

今回の助成金を活用して、実験室に空調設備を導入し、実験環境を整備して量産のための基礎技術を確立したいと考えています。

助成金額 30万円

「微振動でも発電可能な磁歪材料 (Fe-Al 合金) の開発」

株式会社アルフェコ 代表取締役 大神田 頼子

弊社が開発しました Fe-8wtAl 合金は微振動で制振効果を発する世界初の合金です。この特性を活かし、音響部材として実用化されています。また、工業材料としてはセンサーなど精密測定器具に使用される微振動を防ぐ部材として使われています。その制振メカニズムは、エネルギーを貯め込むことの困難とされている小さい 20 μ 程度の振動が加わると、Fe-Al 合金では内部にエネルギーを貯めて熱として放出することで制振効果を出しています。大きな力を加えると発電ができることは広く知られていますが、小さな力のエネルギーを蓄える材料は現状では Fe-Al 合金しかありません。この特性を振動発電用磁歪材料として利用できれば、エコあるいは環境面で社会に貢献が期待できると考えて本開発研究としました。

助成金額 40万円

「歯周病診断試験紙の開発」

長田産業株式会社 代表取締役 長田 伊知朗

歯周病は 35 歳以上の約 8 割が罹患していると言われております。歯科検診は熟練した歯科医師により行われますが、歯科医師の労力やコスト、受診者の不快感など様々な問題があり、簡便な検査方法が求められています。

私共は大学歯学部と共同で罹患状態の指標と考えられている唾液中の乳酸脱水素酵素活性に着目し、唾液を試料として 1 分間で病態を判定する試験紙を開発しました。大学生志願者に対して本試験紙の試験を行いましたところ、有効性が確認されました。現在得られているデータは少人数の偏った母集団のものであり、年齢、職業、生活習慣等が多様な母集団で千人規模のデータを収集し、さらなる有効性の検証を目指します。

助成金額 20万円

「雪を活用した低温貯蔵システムの貯蔵特性に関する研究」

株式会社中村建設ナカフサ 代表取締役 中村 肇

弊社が開発し、神鍋高原に設置した低温貯蔵システムは熱源に冬期の但馬地域に存在する雪を活用し、電源等の一切動力を使用することなく、雪だけで3月～11月の期間、貯蔵庫内温度2～4℃、湿度90%以上に維持できるシステムです。低温保管貯蔵庫を、雪庫で挟む連棟式構造のため、一般的な雪室と違い雪(氷)と貯蔵品が接触することはなく、内壁に結露もないのが特徴です。本低温貯蔵システムを事業化し、普及する事で貯蔵品の差別化、付加価値アップを目指し、一般の業務用冷蔵庫に貯蔵した物品と本システムで比較し優位性を明らかにする事で、豪雪地帯でなくても自然エネルギー(雪)を活用し、地域の一次産業の活性化にも繋げたい。

助成金額 2.0万円

「発話訓練支援アプリの小型情報端末への実装および実証実験」

甲南大学知能情報学部 教授 北村 達也

音声器官に医学的な問題がないにもかかわらず、日常的に発話のしにくさ(発話運動がうまくいかない感覚)を感じている人が多数存在する。我々は、ペンや割り箸などを前歯でくわえた状態で発話訓練を行うと滑舌を改善する効果があり、さらにその訓練時に画像処理を用いて表情筋の動きをフィードバックすることによって訓練効果を向上させられることを見いだした。本研究課題では、画像処理に要する計算量を削減するなどの工夫を施すことによって、安価で入手しやすいマイコンボードやタブレット上で動作するアプリを開発する。そのシステムをユーザーに貸し出し、継続的に利用した場合の問題点や訓練効果について明らかにする。

助成金額 2.0万円

「位置特異的ベンゾイル化による未開拓ベンゾエート型プロドラッグ資源の迅速供給」

神戸大学大学院農学研究科 助教 姜 法雄 氏

本研究では、独自に開発した第一級アルコール特異的ベンゾイル化反応を利用し、これまで合成に莫大なコストがかかるため、未開拓の創薬資源となっていたベンゾエート型プロドラッグのライブラリーを迅速に構築する。すなわち、取り扱い容易で大量に調製可能な *N*-ベンゾイルカルバゾールをベンゾイル化剤として用い、触媒量の DBU 存在下、複雑な医薬品の第一級アルコールを特異的にベンゾイル化することで、様々なベンゾエート型プロドラッグを取得する。本反応は極めて温和であり複雑な医薬品由来のベンゾエートを簡便に調製できることから、ベンゾエートの創薬研究への応用を格段に容易にすることができる。

助成金額 3.0万円

2. 特記事項

開催日時	概要	場所
平成31年		
4月12日	会計監査（鈴木監事）	財団事務局（発明協会事務室）
4月15日	会計監査（工藤監事）	兵庫県企画県民部市町振興課
令和元年		
5月9日	第1回理事会	県立工業技術センター技術交流館
5月9日	評議員選定委員会	県立工業技術センター技術交流館
6月24日	評議員会	県立工業技術センター技術交流館
6月24日	第2回理事会	県立工業技術センター技術交流館
6月25日	定期報告書類ネットにて届出	
7月1日	令和元年度 助成金申請受付開始	
7月4日	役員変更登記手続	法務局
7月18日	役員変更公益法人ネットにて提出	
9月30日	令和元年度 助成金申請受付締切	
9月30日	助成金平成30年度中間報告書提出締切	
10月31日	令和元年度 助成金選考委員会	県立工業技術センター技術交流館
11月12日	第3回理事会	県立工業技術センター技術交流館
令和2年		
1月20日	科学技術振興に関する第44回助成金贈呈の会	生田神社会館 梅の間
3月10日	第4回理事会（書面決議に変更） 新型コロナウイルスのため 日時は決議があったとみなされた日	
3月13日	定期報告書類ネットにて届出	

貸借対照表

(公財) 兵庫県科学技術振興財団

令和2年3月31日現在

(単位:円)

	A	B	C	D
1	科 目	当年度	前年度	増 減
2	I 資産の部			
3	1. 流動資産			
4	現金預金	1,965,500	2,032,564	△67,064
5	現金	65,930	47,735	18,195
6	普通預金	1,899,570	1,984,829	△85,259
7	流動資産合計	1,965,500	2,032,564	△67,064
8	2. 固定資産			
9	(1) 基本財産			
10	投資有価証券	200,000,000	200,000,000	0
11	基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
	(2) 特定資産			
	投資有価証券	6,000,000	6,000,000	
	特定資産合計	6,000,000	6,000,000	
12	固定資産合計	206,000,000	206,000,000	0
13	資産合計	207,965,500	208,032,564	△67,064
14	II 負債の部			
15	1. 流動負債			
16	未払金	300,000	300,000	0
17	流動負債合計	300,000	300,000	0
18	負債合計	300,000	300,000	0
19	III 正味財産の部			
20	1. 指定正味財産			
21	寄付金	200,000,000	200,000,000	0
22	指定正味財産合計	200,000,000	200,000,000	0
23	(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
24	(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
25	2. 一般正味財産	7,665,500	7,732,564	△67,064
26	(うち基本財産への充当額)	(6,000,000)	(6,000,000)	(0)
27	(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
28	正味財産合計	207,665,500	207,732,564	△67,064
29	負債及び正味財産合計	207,965,500	208,032,564	△67,064

正味財産増減計算書

(公財) 兵庫県科学技術振興財団

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

	A 科 目	B 当 年 度	C 前 年 度	D 増 減
1				
2	I 一般正味財産増減の部			
3	1. 経常増減の部			
4	(1) 経常収益			
5	① 基本財産運用益	[2,140,000]	[2,140,000]	[0]
6	基本財産受取利息	2,140,000	2,140,000	0
7	② 特定資産運用益	[28,200]	[28,200]	[0]
8	特定資産受取利息	28,200	28,200	0
9	③ 雑収益	[23]	[23]	[0]
10	受取預金利息	23	23	0
11	経常収益計	2,168,223	2,168,223	0
12	(2) 経常費用			
13	① 事業費	[1,852,662]	[1,816,851]	[35,811]
14	委員会費	15,000	12,000	3,000
15	開発助成費	1,600,000	1,600,000	0
16	通信運搬費	59,240	48,778	10,462
17	消耗品費	43,372	23,533	19,839
18	賃借料	85,050	82,540	2,510
19	諸謝金	50,000	50,000	0
20	② 管理費	[382,625]	[376,020]	[6,605]
21	会議費	(64,000)	(60,500)	(3,500)
22	旅費	60,000	57,000	3,000
23	賃借料	4,000	3,500	500
24	事務費	(18,625)	(15,520)	(3,105)
25	消耗品費	5,808	5,445	363
26	通信運搬費	10,685	7,943	2,742
27	雑費	2,132	2,132	0
28	事務委託費	300,000	300,000	0
29	経常費用計	2,235,287	2,192,871	42,416
30	当期経常増減額	△ 67,064	△ 24,648	△ 42,416
31	2. 経常外増減の部			
32	(1) 経常外収益			
33	経常外収益計	0	0	0
34	(2) 経常外費用			
35	経常外費用計	0	0	0
36	当期経常外増減額	0	0	0
37	当期一般正味財産増減額	△ 67,064	△ 24,648	△ 42,416
38	一般正味財産期首残高	7,732,564	7,757,212	△ 24,648
39	一般正味財産期末残高	7,665,500	7,732,564	△ 67,064
40	II 指定正味財産増減の部			
41	当期指定正味財産増減額	0	0	0
42	指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
43	指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
44	III 正味財産期末残高	207,665,500	207,732,564	△ 67,064

正味財産増減計算書（内訳表）

（公財）兵庫県科学技術振興財団

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

（単位：円）

	A 科 目	B 公益目的事業会計		D 法人会計	E 内部取引控除	F 合計
		研究開発助成金事業	小計			
1						
2	I 一般正味財産増減の部					
3	1. 経常増減の部					
4	(1) 経常収益					
5	① 基本財産運用益	[1,585,740]	[1,585,740]	[554,260]	[0]	[2,140,000]
6	基本財産受取利息	1,585,740	1,585,740	554,260	0	2,140,000
7	② 特定資産運用益	[28,200]	[28,200]	[0]	[0]	[28,200]
8	特定資産受取利息	28,200	28,200	0	0	28,200
9	③ 雑収益	[23]	[23]	[0]	[0]	[23]
10	受取預金利息	23	23	0	0	23
11	経常収益計	1,613,963	1,613,963	554,260	0	2,168,223
12	(2) 経常費用					
13	① 事業費	[1,852,662]	[1,852,662]	[]	[]	[1,852,662]
14	委員会費	15,000	15,000			15,000
15	開発助成費	1,600,000	1,600,000			1,600,000
16	通信運搬費	59,240	59,240			59,240
17	消耗品費	43,372	43,372			43,372
18	賃借料	85,050	85,050			85,050
19	諸謝金	50,000	50,000			50,000
20	② 管理費	[]	[]	[382,625]	[0]	[382,625]
21	会議費	()	()	(64,000)	(0)	(64,000)
22	旅費			60,000	0	60,000
23	賃借料			4,000	0	4,000
24	事務費	()	()	(18,625)	(0)	(18,625)
25	消耗品費			5,808	0	5,808
26	通信運搬費			10,685	0	10,685
27	雑費			2,132	0	2,132
28	事務委託費			300,000	0	300,000
29	経常費用計	1,852,662	1,852,662	382,625	0	2,235,287
30	当期経常増減額	△ 238,699	△ 238,699	171,635	0	△ 67,064
37	当期一般正味財産増減額	△ 67,064	△ 67,064			△ 67,064
38	一般正味財産期首残高	7,732,564	7,732,564			7,732,564
39	一般正味財産期末残高	7,665,500	7,665,500			7,665,500
40	II 指定正味財産増減の部					
41	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
42	指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000			200,000,000
43	指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0	0	200,000,000
44	III 正味財産期末残高	207,665,500	207,665,500	0	0	207,665,500

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

課税売上がないため、税込にて処理

2. 会計方針の変更

該当事項はなし。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
兵庫県縁故債	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
研究開発助成引当資産	6,000,000	0	0	6,000,000
合計	206,000,000	0	0	206,000,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。（単位：円）

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
兵庫県縁故債	200,000,000	200,000,000	0	0
特定資産				
研究開発助成引当資産				
みずほフィナンシャルグループ社債	6,000,000	0	6,000,000	0
合計	206,000,000	206,000,000	0	0

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲は、現金預金、未払金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	2,032,564	1,965,500
未払金	300,000	300,000
次期繰越収支差額	1,732,564	1,665,500

財 産 目 録

(公財) 兵庫県科学技術振興財団

令和 2 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

	A 科 目	B 内 容	C 使用目的等	D 金 額
1				
2	I 資産の部			
3	1. 流動資産			
4	現金預金			
5	現金	手元保管	運転資金として	65,930
6	普通預金	普通預金 三井住友銀行兵庫支店	運転資金として	1,899,570
7	流動資産合計			1,965,500
8	2. 固定資産			
9	(1) 基本財産			
10	投資有価証券	兵庫県縁故債(年率1.07%)	公益目的財産であり、運用益の74.1%を公益目的事業の財源として、25.9%を管理費の財源として使用している	200,000,000
11	基本財産合計			200,000,000
12	(2) 特定資産			
13	投資有価証券	みずほファイナンシャル グループ社債(年率0.47%)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	6,000,000
14	特定資産合計			6,000,000
15	固定資産合計			206,000,000
16	資産合計			207,965,500
17	II 負債の部			
18	1. 流動負債			
19	未払金	未払い金	(一社)兵庫県発明協会に対する未払い金	300,000
20	流動負債合計			300,000
21	負債合計			300,000
22	正味財産			207,665,500

収 支 計 算 書（予算対比）

（公財）兵庫県科学技術振興財団

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

（単位：円）

	A 科 目	B 予 算 額	C 決 算 額	D 差 異	E 備 考
1					
2	I 事業活動収支の部				
3	1. 事業活動収入				
4	① 基本財産運用収入	[2,140,000]	[2,140,000]	[0]	
5	基本財産利息収入	2,140,000	2,140,000	0	
6	② 特定資産運用収入	[28,200]	[28,200]	[0]	
7	特定資産利息収入	28,200	28,200	0	
8	③ 寄付金収入	[0]	[0]	[0]	
9	寄付金収入	0	0	0	
10	④ 助成金戻し入れ収入	[30,000]	[0]	[30,000]	
11	助成金戻し入れ収入	30,000	0	30,000	
12	⑤ 雑収入	[10]	[23]	[△13]	
13	預金利息収入	10	23	△13	
14	雑収入	0	0	0	
15	事業活動収入計	2,198,210	2,168,223	29,987	
16					
17	1. 事業活動支出				
18	① 事業費支出	[1,644,000]	[1,852,662]	[△208,662]	
19	委員会費支出	12,000	15,000	△3,000	
20	開発助成費支出	1,400,000	1,600,000	△200,000	
21	通信運搬費支出	48,000	59,240	△11,240	
22	消耗品費支出	30,000	43,372	△13,372	
23	賃借料支出	84,000	85,050	△1,050	
24	諸謝金支出	70,000	50,000	20,000	
25	② 管理費支出	[554,210]	[382,625]	[171,585]	
26	会議費支出	100,000	64,000	36,000	
27	消耗品費支出	134,000	5,808	128,192	
28	通信運搬費支出	15,000	10,685	4,315	
29	雑支出	5,210	2,132	3,078	
30	事務委託費支出	300,000	300,000	0	
31	事業活動支出計	2,198,210	2,235,287	△37,077	
32	事業活動収支差額	0	△67,064	67,064	
33	II 投資活動収支の部				
34	1. 投資活動収入	0	0	0	
35	2. 投資活動支出	0	0	0	
36	投資活動収支差額	0	0	0	
37	当期収支差額	0	△67,064	67,064	
38	前期繰越収支差額	1,732,564	1,732,564	0	
39	次期繰越収支差額	1,732,564	1,665,500	67,064	

監 査 報 告 書

令和2年 4月 8日

公益財団法人 兵庫県科学技術振興財団
会 長 神 門 登 殿

監事 鈴木 祥 克 ㊟

私は、公益財団法人兵庫県科学技術振興財団の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年度の事業年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書）及び財産目録並びに収支計算書の正確性を検討いたしました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 財務諸表及び財産目録並びに収支計算書は、法人の令和元年度末日現在の財政状態並びに同年事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告は、法令又は定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

監 査 報 告 書

令和2年 4月 9日

公益財団法人 兵庫県科学技術振興財団
会 長 神 門 登 殿

監事 中 野 秀 樹 ㊟

私は、公益財団法人兵庫県科学技術振興財団の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年度の事業年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書）及び財産目録並びに収支計算書の正確性を検討いたしました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 財務諸表及び財産目録並びに収支計算書は、法人の令和元年度末日現在の財政状態並びに同年事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告は、法令又は定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上